

指導員受験レポート

報告者: せいパパ

受験会場: 第5会場 奥神鍋スキー場

受験者総数: 92名

チーム兵庫: 6名(内ベルスキークラブ: 2名)

合格者数: 67名(単位受験者+非単位受験者)

指導員受験のレポートです。

検定本番が2月21(金)～23(日)までの3日間でした。

当日が平日なのは準指受験当時と同じだが、今回は更に会社をもう1日お休みを頂き20日からの4日体制で挑んだ。

ま～スツゴク忙しい時期ではあったが、『人生最大の試練に挑むので・・・』と訳の解らない理由で休んだ。(笑)

■1日目(2月20日)『最終確認』

検定前日、朝一番から宿に入ると、宿の女将さんから『もう来たの?』的な扱いを受けたが、こちらも必死なので、朝一番からのゲレンデに立つため、そんな事も気にせず一番の登行リフトに並ぶと、後には陸上自衛隊の大勢様が私の後ろに控えておられた。

今回の受験種目には『横滑りの展開』というとても厄介な種目があり、練習するにも斜面状況が物凄く左右されるので朝一番は重要なのでした。

朝一番の、しかも一番のリフトに乗り、誰も滑ってないピステンだらけのピッカピカの斜面を・・・横滑り。

む・な・しい。

悲しすぎる。

でも、今は我慢。

兵庫県特講ではS藤大佐先生から『楽しじゃだめです』とチーム兵庫6人全員に釘を刺されていたのもあって、ひたすら横滑り祭りだった。

昼からチーム兵庫全員集合! K 谷中佐監督も集合!

お昼を済ませてから監督直々に実技の出来を確認。

監督は『OK! OK!』と小さな声で・・・その時の本心は怖くて聞けませんでした。

14時ぐらいには監督から『さ～理論、理論!』と撤収命令が掛かり、一同宿へ退散。

普段なら風呂入って、プハ～な感じだが・・・

当然、夕飯まで理論漬け。

夕飯食べてからも理論漬け。

各自それぞれのスタイルでお勉強。

- ・一人黙々と取り組む最年長・主将の横チャン。
- ・直ぐにお笑いになるカンゲー口のKB 田さん。
- ・仕事でも勉強して市販問題集をひたすら覚える朝来のA川さん。
- ・市販問題集をカンゲー口KB田さんに裂いて渡す男前な福崎の Y 浅女王様。
- ・これまた一人黙々と取り組む鉢伏のKW 田さん。

24 時を過ぎると流石に教科書や問題集を持ったまま寝てる状況になってきたので、就寝。

■2日目(2月21日)『理論の洗礼』

さ~この日から検定の開始!

勿論、理論から。

朝食もそそくさと終わらせ、出発ギリギリまでお勉強。

覚えたことを出来る限り溢さない様に、頭を出来るだけ揺らさずに検定会場へ。

みんな無口です。

会場に着くと、勝手知ったる競技センターなので、まずは...スリッパの確保。これ重要。

受付を済ませ、ビブを頂きます。

特に緊張はありませんでしたし、何か落ち着いて席に着きました。

開会式では、マスクをして如何にも具合の悪そうな我等が ame 鬼軍曹先生が座っておられ、SAJ担当理事の挨拶、検定員の紹介等々、進行していきます。

開会式も終わり、さ~理論の開始です。

問題や解答用紙が嚴重に梱包されているのを皆で確認し、開封。

SAJ担当理事がその問題を見た瞬間、ニヤッと笑うではないですか!

凄く気になって、理論開始の合図と共にビブNo.、名前を書き、問題を開いた瞬間目に飛び込んだものは...

『全日本スキー連盟の会長の名前は?』

開始早々、やられました。

想定外です。

養成講習でも、ame 鬼軍曹先生が『理論は簡単にするって言った』とのお言葉がここまでとは。

確かに、簡単。でも想定外。答えに凄く困りました。

オフィシャルブックには書いてます。確かに。

後から聞くと、色々珍回答があったそうな...

私も、笑いに走るか、嘘でもそれらしい名前を書くか？相当悩んだ挙句、間違っているのは解っていながら過去の会長の名前を書いて提出した。

理論は少し当てが外れたが、ま～6割はあるだろうと、一応は埋めておいた。

理論を終了時間まで引っ張り、へロへロになりながら昼食へ。

理論はもう忘れて実技へ集中～。

昼からの実技はローテーションにもよるが、私は・・・

1. 基礎パラレルターン大回り
2. プルークボーゲン
3. 不整地小回り

であった。

西日本特講で検定バーンは聞いていたが、全くその通り。

ですが、やはり指導員検定、色々な罟が仕掛けられていた・・・と思う。

基礎大はま～想定内。

プルークボーゲンは、斜度が緩くなったと喜んでいたら・・・コース長が短くなってる。

不整地は、ピッチの短いのと長いとの2本。ちょうど良いところが無い状態のどちらも中途半端。

基礎大とプルークボーゲンは、並行して行われているので、余り感じなかったが、最後の不整地は、90人全員で1人ずつのスタート。

ま～待ち時間がきつい。

正直、今思えば今回の検定で一番きついと感じた種目だった。

1日目終了したのはリフトも止まった16:30過ぎ・・・身も心もボロボロ、へロへロ状態。

ここで気付いた。

種目の緊張より、プレッシャーの中でのあの待ち時間に耐える精神力が凄く大事ってこと。

来シーズンの皆様、ご注意下さい。

これまた、そそくさと宿へ引き上げ、速攻部屋で倒れる。

理論も終わったし、皆でプチ打ち上げ。

だが、正直、自分自身の不出来の心配でちょっとブルーになっていたのは否めない。

■3日目(2月22日)『実技の終焉』

実技検定が全て終了します。

この日の私の順番は・・・

1. パラレルターン大回り
2. 横滑りの展開
3. シュテムターン
4. 基礎パラレルターン小回り
5. 総合滑降

1～4は並行進行だが、最終種目の総合滑降はまた90人全員で。

この日の種目は何と言っても『横滑りの展開』。

各府県連の色が出てるな～と思った種目だった。

勿論、兵庫県は ame 鬼軍曹先生やS藤大佐先生にご教授頂いた内容で演技。

ここでも、私はちょこっとやらかしてしまい、不安増大なことに。

午前中に4種目が終わり、最後残すは総合滑降1本。

最も苦手、且つ、不得意な、でも今まで一番出来が良いという訳の解らん種目。

90人一人ずつなので、ストレスも溜まり、スピードは要らないと言われてはいたが、前走の専門委員の先生が、そりやもう楽しんでいる様にしか思えない演技だったので…私も楽しみました。

それが功を成し、良い点だったとか…良かった良かった。

最終滑走者がゴールすると皆で拍手喝采。

無事、理論&実技全てが終了した。

勿論、不安いっぱい…いや、不安だらけ。

でも、終わってしまったものは今更どうしようもないので…兎に角…また…呑んだ。呑まれた。

■4日目(2月23日)『審判の日』

ついにシーズンを賭けた審判の日。

この日を迎えるまでに…

- ・教程が変わるが、何時教科書でるの？
- ・SAJ 会員証が届かない、手続きどうすんだ～
- ・正月明けてから全く週末家にいないけど的
- ・仕事も激務、週末も全て山…で、検定前に倒れる

色々あり、走馬灯の様に記憶が駆け巡った。

SAJ 担当理事のご挨拶も終わり…発表です。

発表には、『実技の成績順で呼ばれる』とか、色々な噂があったが、実のところパソコンでランダムに決めた順番だそうです。

兵庫県連6人。

ビブNo.は、13、14、30、35、88、89。

それでは発表します。

ビブNo.…13番！

いきなり兵庫県連からスタート！

小さくガッツポーズ！

暫くして14番(私です)。

順調に30番、35番、89番と呼ばれ、残り一人88番がコール。

その後、数人がコールされ・・・お決まりの

『以上です』

の締めくくり。

兵庫県連100% 2連覇達成！

閉会の後、皆で握手。

監督の胴上げも考えたが・・・重そうなので止めた。

ame 鬼軍曹先生も来られて、ちょっとした裏話も頂いた。

合格手続きをし、公認証を頂いた。

全てが終わった。

■エピローグ

自分自身の合格も勿論嬉しいが、兵庫県連2連覇達成を自分自身の合格と共に目標にしてきた。

単位制の廃止の優遇処置で、全員素で受けるチーム兵庫は『絶対に負けるか！』って一致団結した。

6人全員が必死で、チョット書けないゴタゴタもあった。

S藤大佐先生にはナイターレッスン&直前確認までして頂いた。

ここまで来るのに色々な方々のご支援を頂き、また暖かい声援、応援も頂いた。

こんなことを書くと良くないが・・・正直、無茶苦茶しんどかった。

一時期 3Kg 痩せた。

でも最後の最後は6人全員で笑って終わった。

ここまで、色々な方々に支えられて何とか『合格』の2文字に辿りつきました。

県連の先生方、クラブの皆様、それに他のクラブの方々からも支えられ、個人以上の力が発揮できたのだと思います。

今後も初心を忘れず、一人でも多くの方々へその恩返しが出来ればと思います。

最後に・・・

頂きました公認証の最後のところ、忘れる事は無いと思います。

『公益財団法人 全日本スキー連盟会長 鈴木 洋一』



ame 日記より拝借いたしました m(_)_m